

上腕骨

橈骨頭

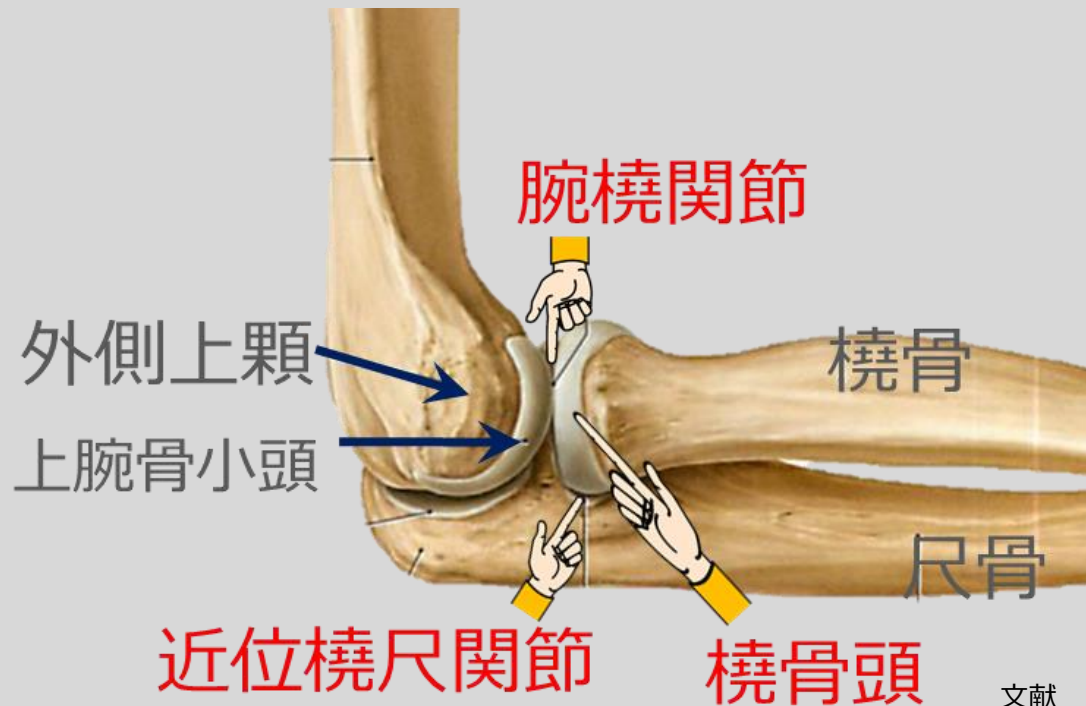
腕橈關節

近位橈尺關節



1分 study

解剖

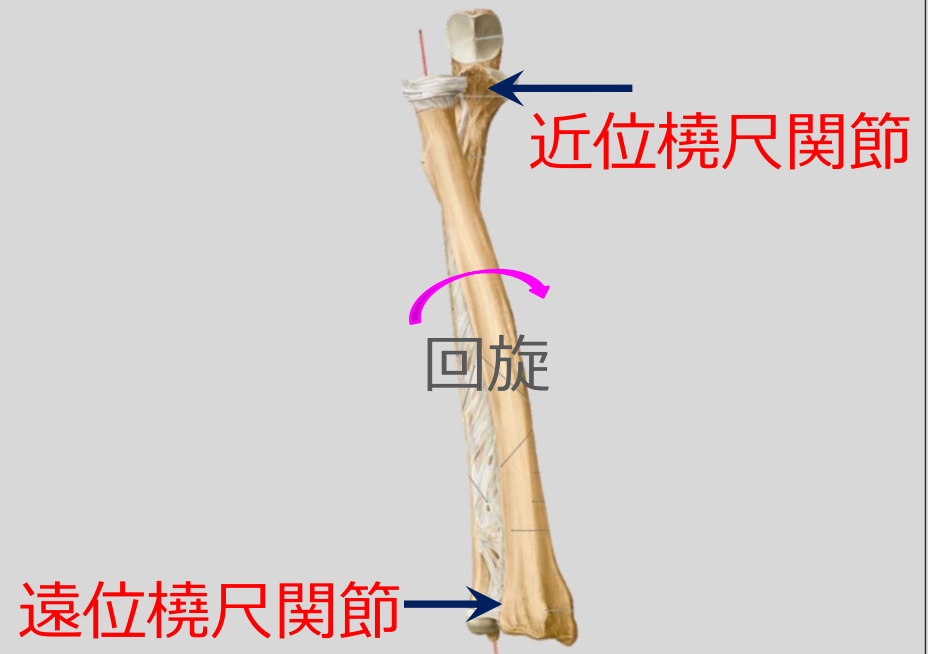
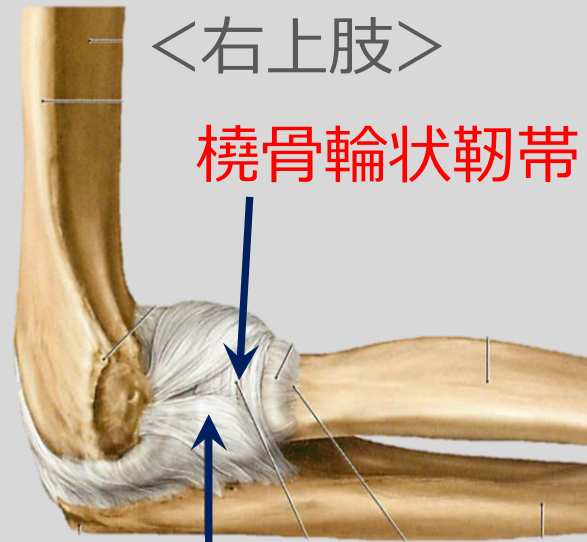


文献
プロメテウス解剖学コアアトラス

【橈骨頭】

- 橈骨近位端にある膨らみをいう。
- 近位端は軟骨を有し，上腕骨小頭と腕橈関節を作る。
- 尺骨の橈骨切痕と近位橈尺関節を作る。

運動



○腕橈関節は形態上球関節であるが、側副靭帯の影響により**屈伸**と**回旋運動**に関わる。

○前腕の回旋運動は**近位・遠位橈尺関節**の協調運動により達成される。

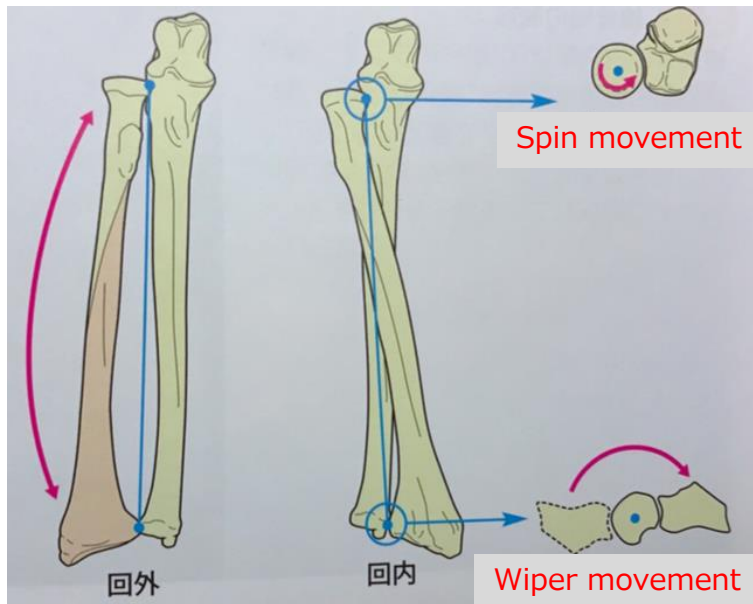
+ a 知識



前腕回旋運動のしくみ

Answer

→前腕の回旋運動は近位および遠位橈尺関節により遂行される。



橈骨頭の中心と尺骨頭の中心を結ぶ線が運動軸となる。

近位では橈骨頭の**Spin movement**
遠位は橈骨の**Wiper movement**により前腕の回旋が可能となる。



例：車のワイパー

文献
林 典雄 先生
運動療法のための機能解剖学的触診技術(上肢)